

特記仕様書

- 1 件 名 : 屋外蒸気配管補修工事
- 2 工事場所 : 航空自衛隊松島基地
- 3 概 要 : 蒸気配管の交換・溶接補修等を実施する工事
- 4 一般共通事項

(1) 仕様書

本工事は、本仕様書及び図面に記載してある事項のほか、公共建築工事標準仕様書及び公共建築改修工事標準仕様書に従い遺漏なく実施するものとする。ただし、本工事に関係なき事項については適用しない。また、これらに明記なき事項については、監督官の指示に従い実施するものとする。

(2) 疑義

図面と仕様書に定められた内容に疑義が生じた場合、監督官と協議のうえ実施するものとする。

(3) 現場管理

ア 安全管理

- (ア) 施工中は、常に安全確保に留意し現場管理を行い災害及び事故防止に努める。
- (イ) 現場の安全衛生は、現場代理人が責任者となり労働安全衛生法その他関係法令に従ってこれを行う。

イ 災害時の対処

災害及び事故が発生した場合は、人命の安全確保を優先するとともに二次災害の防止に努め、その経緯を監督官に報告する。

ウ 立入制限

本工事のため基地内に入門する関係者は、指定された場所以外にみだりに立入りしてはならない。

エ 写真

(ア) 工事写真は、施工前、施工中、施工後、材料検査及び目視できない箇所の施工状況、その他監督官の指示により撮影し、各1枚をアルバムに整理し、提出するものとする。また写真撮影は定点、同一方向から撮影するものとする。

(イ) 本工事で撮影した写真データは、CD-R又はDVD-Rに記録後、事前にウィルススキャンを実施したものを提出するものとし、その後請負者は、写真データを削除するものとする。

オ 施工時間

施工時間は、平日の0815～1700を基準とする。ただし、予め監督官の承諾を受けた場合はこの限りではない。また、夜間及び平日以外に工事を行う場合は別に定める様式により監督官に申請するものとする。

カ 設計図書等の管理

(ア) 設計図書及び写真等を、本工事に使用する以外の目的で、第三者に使用させてはならない。また、その内容を漏洩してはならない。

(イ) 請負者は、発注者から貸与された図面等を、施工完了後すべて監督官に返納するものとする。

キ 基地内における規定事項の遵守

本工事のため基地内に入門する関係者は、松島基地所定の諸規則に従って行動するものとする。

(4) その他

ア 請負者は、他の工作物等に損害を与えないように施工するものとする。損害を与えた場合は、速やかに監督官に報告し、請負者の負担において復旧するものとする。また、第三者等に損害を与えた場合には、速やかに監督官に報告し、請負者の責任において補償するものとする。

イ 緊急事態の発生に備え、予め「緊急連絡先一覧表」を作成し、監督官に提出するものとし一部を保管しておくものとする。

5 特記事項

(1) 仮設工事

現場の安全及び施工を十分に考慮し、足場及び養生を行うこと。また、施工後の清掃は十分に行うこと。

(2) 撤去工事

ア 各施工場所のポールジョイントは、撤去再取付けとする。その際、清掃及び点検を行い監督官の指示に従い作業すること。

イ 配管の切断にあたっては、既存配管に異物が入らないように処置すること。

(3) 配管工事

ア 配管工事にあたっては、図面番号全11葉の内5～11を基準に施工するものとする。また、施工詳細図（承認図）を提出し、監督官の承認を得ること。

イ 配管工事に際し図面によりがたい場合は、監督官と協議して決定するものとする。また、変更に係る一切の費用を請負者負担により行うものとする。

ウ 自動溶接を除く溶接工は、次の試験等の技量を有するものとする。

(ア) 手溶接の場合は、JIS Z 3801（手溶接技術検定における試験方法及び判定基準）又は、JIS Z 3821（ステンレス鋼接技術検定における試験方法及び判定基準）

(イ) 半自動溶接の場合は、JIS Z 3821（半自動溶接技術検定における試験方法及び判定基準）

エ 仮付け溶接終了後、開先形状確認のため、監督官の指示に従い工事写真及び開先寸法記録を残すこと。

オ 施工完了後はすべての溶接部分の浸透探傷検査を実施するものとする。その後、耐圧試験（水圧1.4Mpa、1時間）を実施するものとする。

工事完了後要返却 工事関係者以外不許複製					
工事 名称	屋外蒸気配管補修工事				図面 番号
図面 名称	特記仕様書				全11葉 の内1 縮 尺
施設隊長	総括班長	企画係長	小隊長	班 長	設 計
松島基地施設隊			令和5年 月 日		

カ 配管工事にあたっては、下表を基準に施工するものとする。

No.	名 称	規 格	口径等	数量
1	圧力配管用炭素鋼鋼管	耐溝状腐食電縫鋼管	200A	黒管 70.48m
2	圧力配管用炭素鋼鋼管	耐溝状腐食電縫鋼管	150A	黒管 7.65m
3	圧力配管用炭素鋼鋼管	STPG 370 Sch40 JIS G 3454	20A	黒管 7.30m
4	ボールジョイント (再使用)	公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編)の とおり。	200A用	14個
5	ボールジョイント (再使用)	公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編)の とおり。	150A用	2個
6	グローブバルブ (再使用)	公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編)の とおり。	150A用	1個
7	仕切弁	公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編)の とおり。	20A用	16個
8	固定金物及びスライ ド金物	溶融亜鉛メッキ	200A用	21カ所
9	固定金物及びスライ ド金物	溶融亜鉛メッキ	150A用	1カ所

(4) 塗装工事

- ア 工場等で塗装を行ったもので、現場搬入前後に損傷した箇所は直ちに補修すること。
- イ 錆止め塗料の種別については、JIS K 5674 1種とし、塗装は2度塗りとする。
- ウ 溶融亜鉛メッキ部分（スライド金物及び固定金物）については、塗装しないものとし細部は、監督官の指示を受けるものとする。

(5) 保温工事

保温施工にあたっては、図面番号全11葉の内5～11及び下記仕様（同等品以上可、取付部材等含）を基準に施工するものとする。

No.	名 称	規 格 等	数量
1	SUSラッキング [※] (ステンレス鋼板)	JIS G 4305	1式
2	ロックール保温筒	200A用 厚：65mm 150A用 厚：65mm 20A用 厚：30mm	85.43m

(6) 発生材の処理

本工事の施工により発生する産業廃棄物の処分（又は特定建設資材の再資源化に係る処分）は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）（又は建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号））に基づいて適正に処分するものとする。また産業廃棄物管理票（マニフェスト）D票・E票の写しを提出するものとする。さらに金属類等監督官の指示する発生材は、通知書を作成し監督官の指示する場所へ集積するものとする。

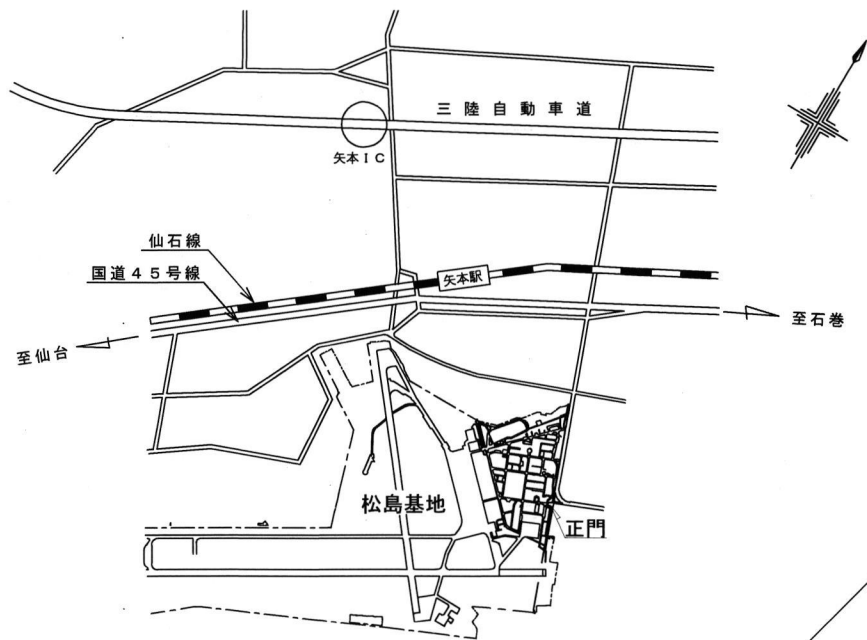
場 所	建 材	判 定	備 考
蒸気配管及び 戻り管	パッキン及び 保温材	非含有	平成23年3月以降、 施工のため

(7) 各種届出が必要な場合は、請負者の負担において届け出ること。

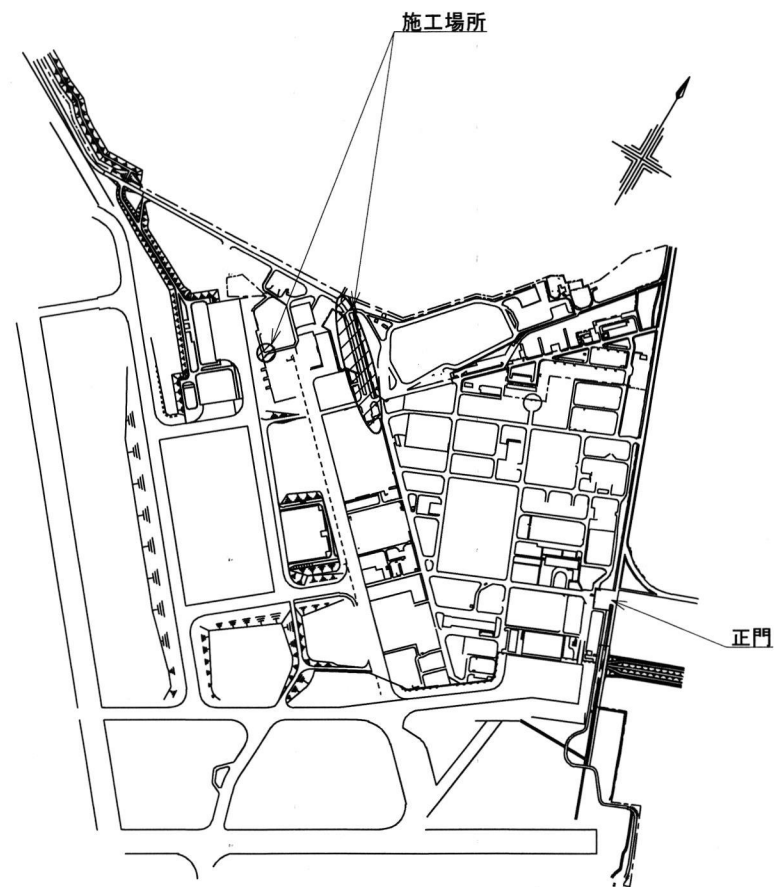
(8) 石綿規制対応について

- ア 請負者は、関係法令に基づき、必要な事前調査を行い、労働基準監督署に報告を行うものとする。なお、製造メーカーで実施した石綿調査結果を活用できるものとする。
- イ 製造メーカーで実施した石綿調査結果は以下のとおり。

工事完了後要返却 工事関係者以外不許複製					
工事 名称	屋外蒸気配管補修工事				図面 番号
図面 名称	特記仕様書				全11葉 の内2 縮 尺
施設隊長	総括班長	企画係長	小隊長	班 長	設 計
松島基地施設隊			令和5年 月 日		



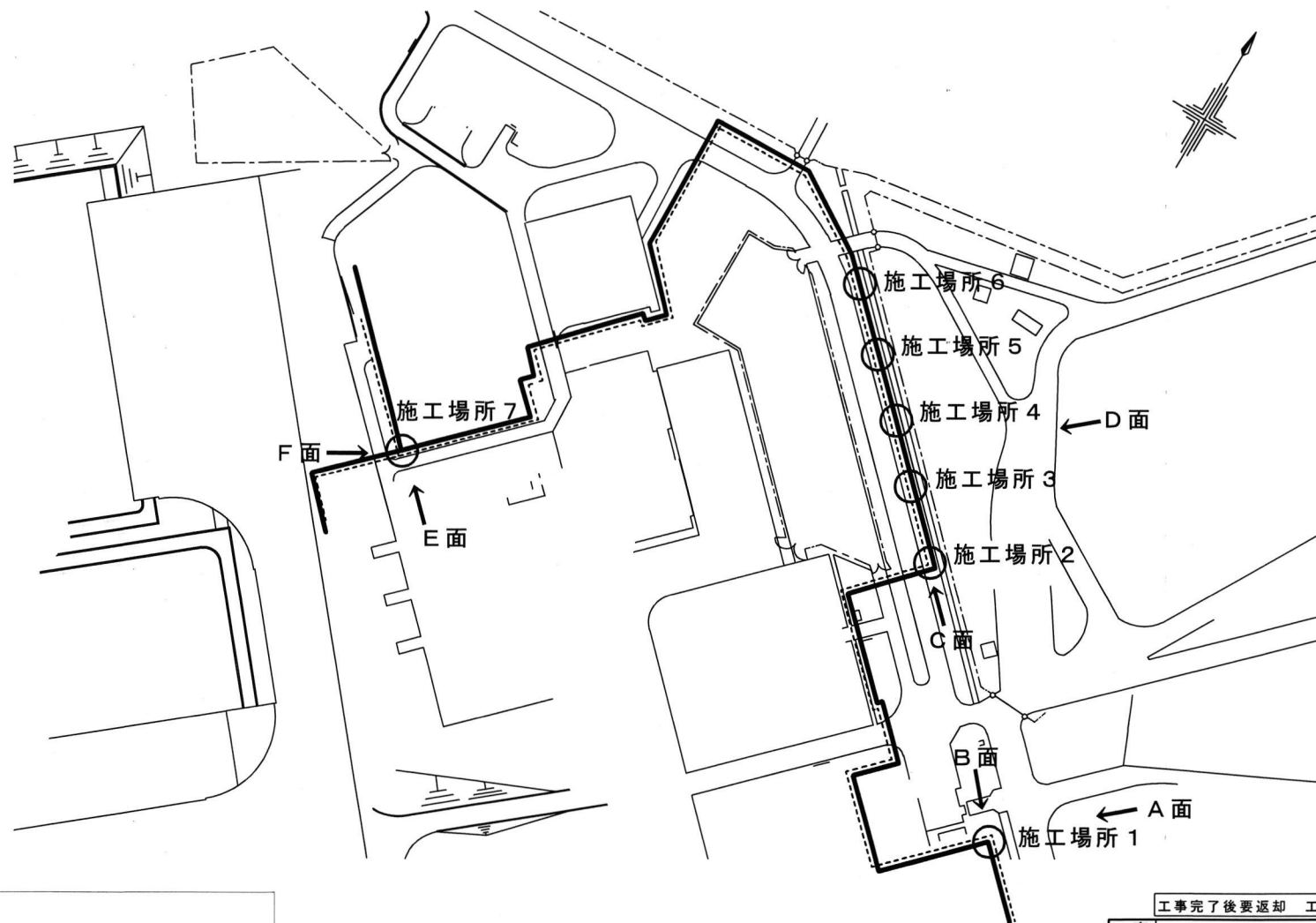
案内図



配置図

工事完了後要返却 工事関係者以外不許複製

工事名称	屋外蒸気配管補修工事				図面番号	全11葉の内3
図面名称	案内図・配置図				縮尺	
施設隊長	総括班長	企画係長	小隊長	班長	設計	
松島基地施設隊				令和5年	月	日



凡 例



蒸気管



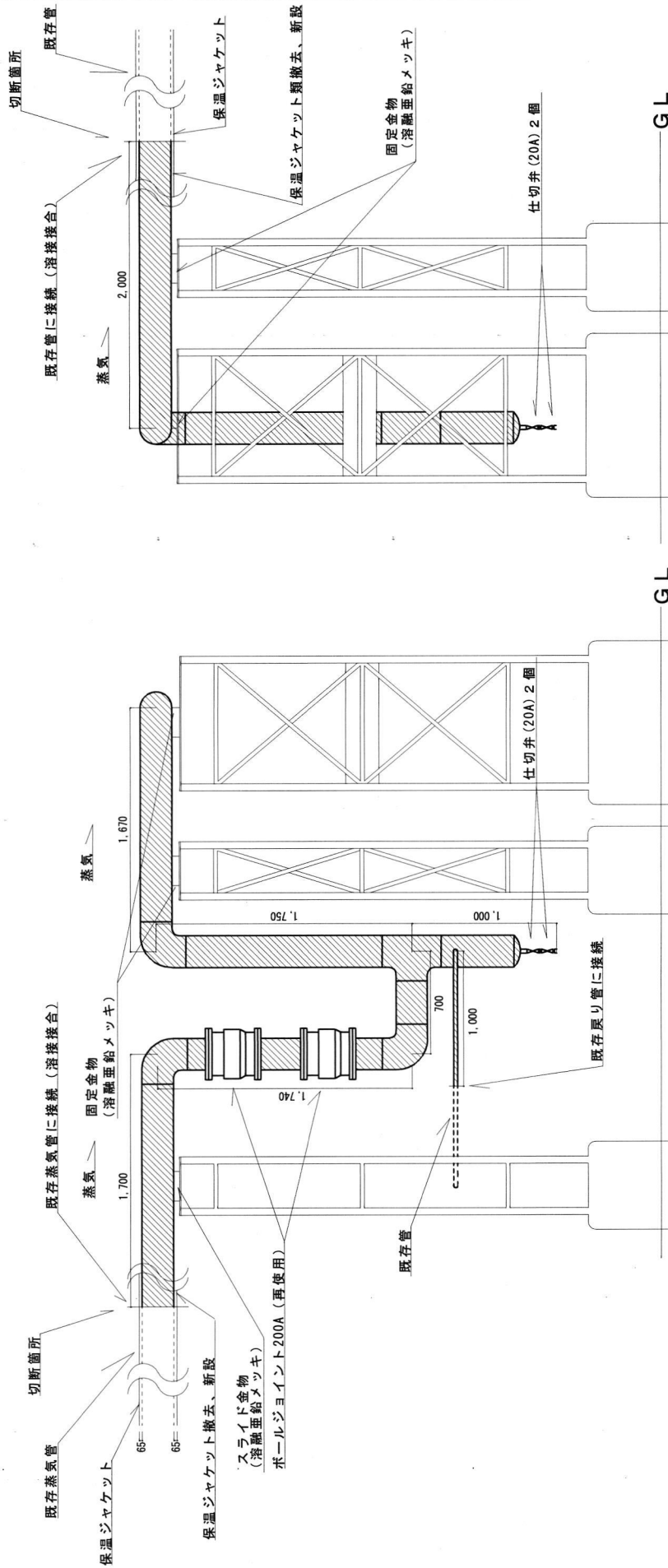
戻り管

工事完了後要返却 工事関係者以外不許複製

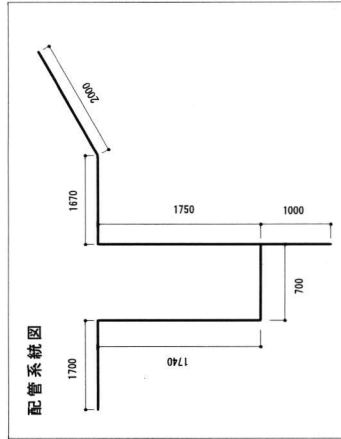
工事名称	屋外蒸気配管補修工事				図面番号	全11葉の内4
図面名称	詳細図				縮尺	
施設隊長	総括班長	企画係長	小隊長	班長	設計	
松島基地施設隊				令和5年	月	日

施行場所 1 A 面

施行場所 1 B 面

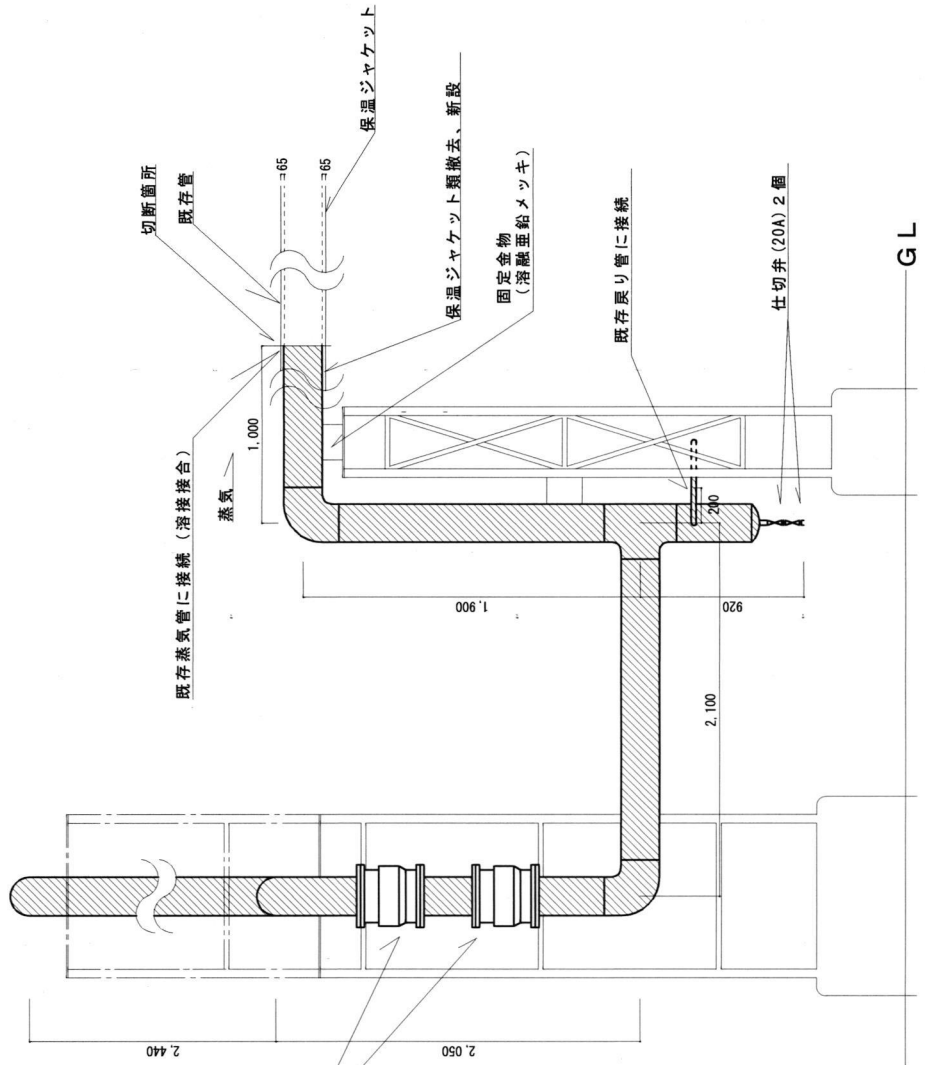


補修内容	数量
蒸気配管200A撤去、新設（既存管に接続）	10.56m
張り配管撤去、新設（既存管に接続）	1.00m
固定金物及びスライド金物撤去、新設	4カ所
ボールジョイント撤去、再使用	2個
仕切弁20A撤去、新設	2個
保温ジャケット類撤去、新設	1式



工事完了後要返却 工事関係者以外不許複製	
工事名称	屋外蒸気配管補修工事
図面番号	全11葉の内5番
図面名称	縮尺
側面図	
施設隊長	総括班長
企画係長	小隊長
班長	設計
松島基地施設隊	令和5年 月 日

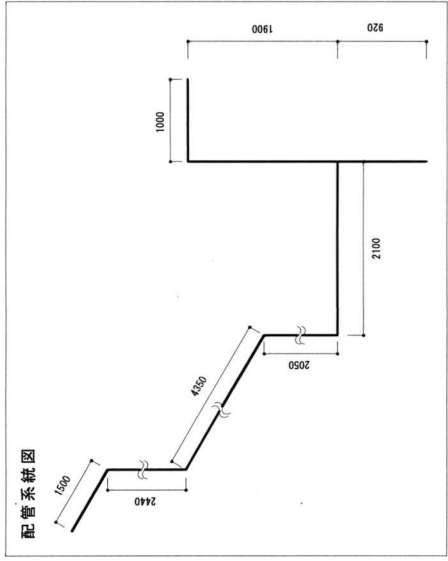
施行場所 2 D 面



①正面

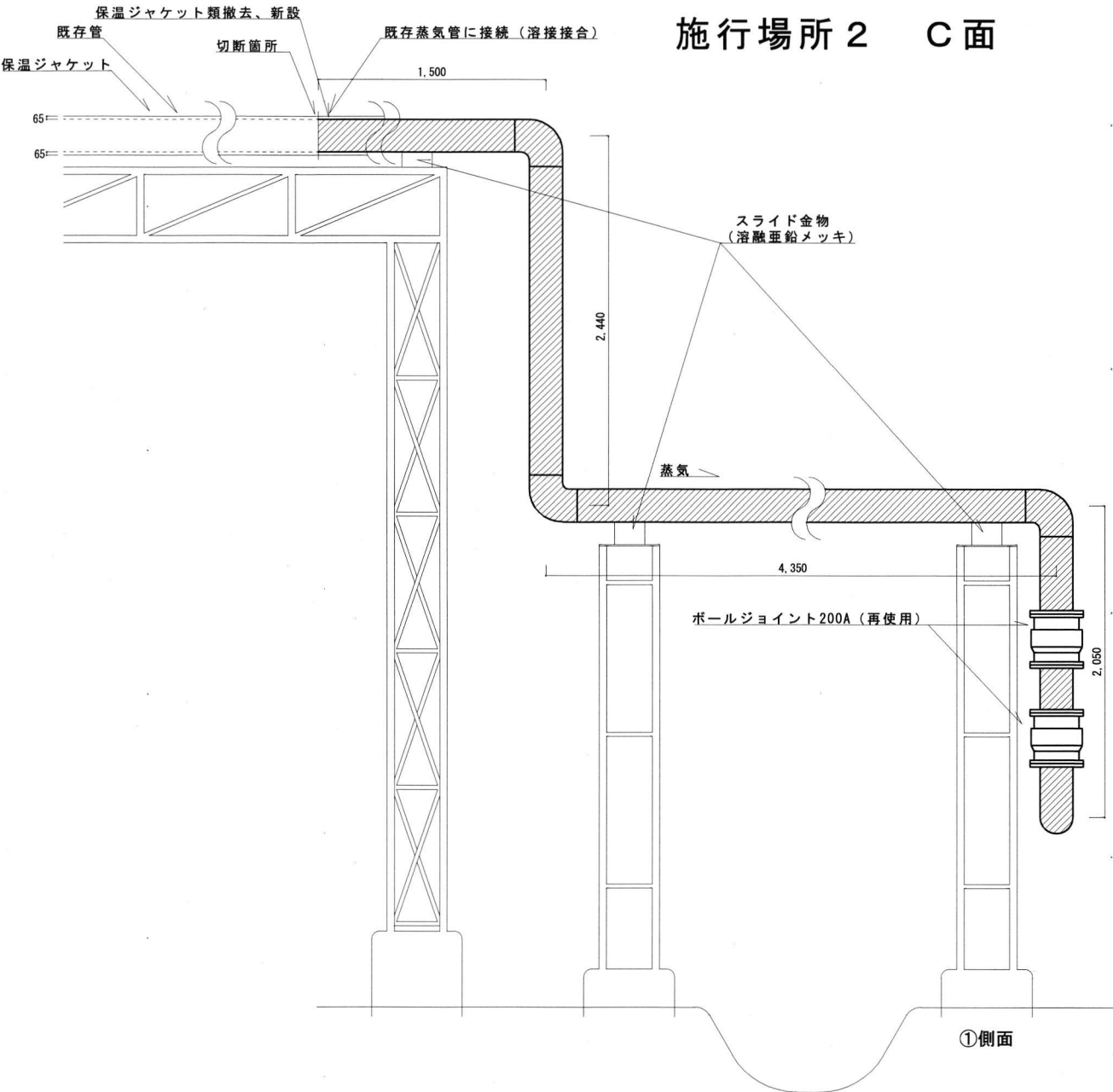
ボールジョイント200A (再使用)

補修内容	数量
蒸気配管200A撤去、新設 (既存管に接続)	16.26m
戻り配管撤去、新設 (既存管に接続)	0.20m
固定金物及びスライド金物撤去、新設	5カ所
ボールジョイント撤去、再使用	2個
仕切弁20A撤去、新設	2個
保温ジャケット撤去、新設	1式



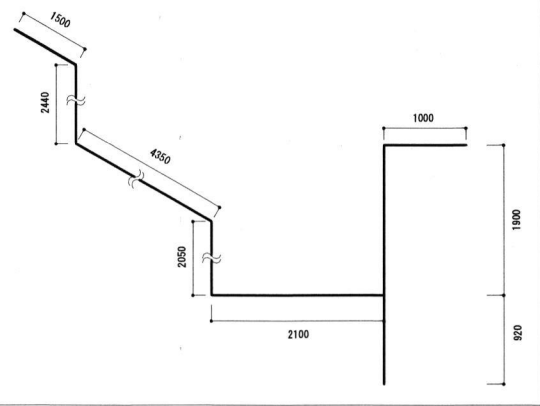
工事完了後要返却 工事関係者以外不許複製			
工事 名称 図面 名称	屋外蒸気配管補修工事		全11葉 の内6 縮尺
	側面図		
	施設隊長	総括班長	企画係長
		小隊長	班長
			設計
松島基地施設隊		令和5年	月 日

施行場所 2 C面



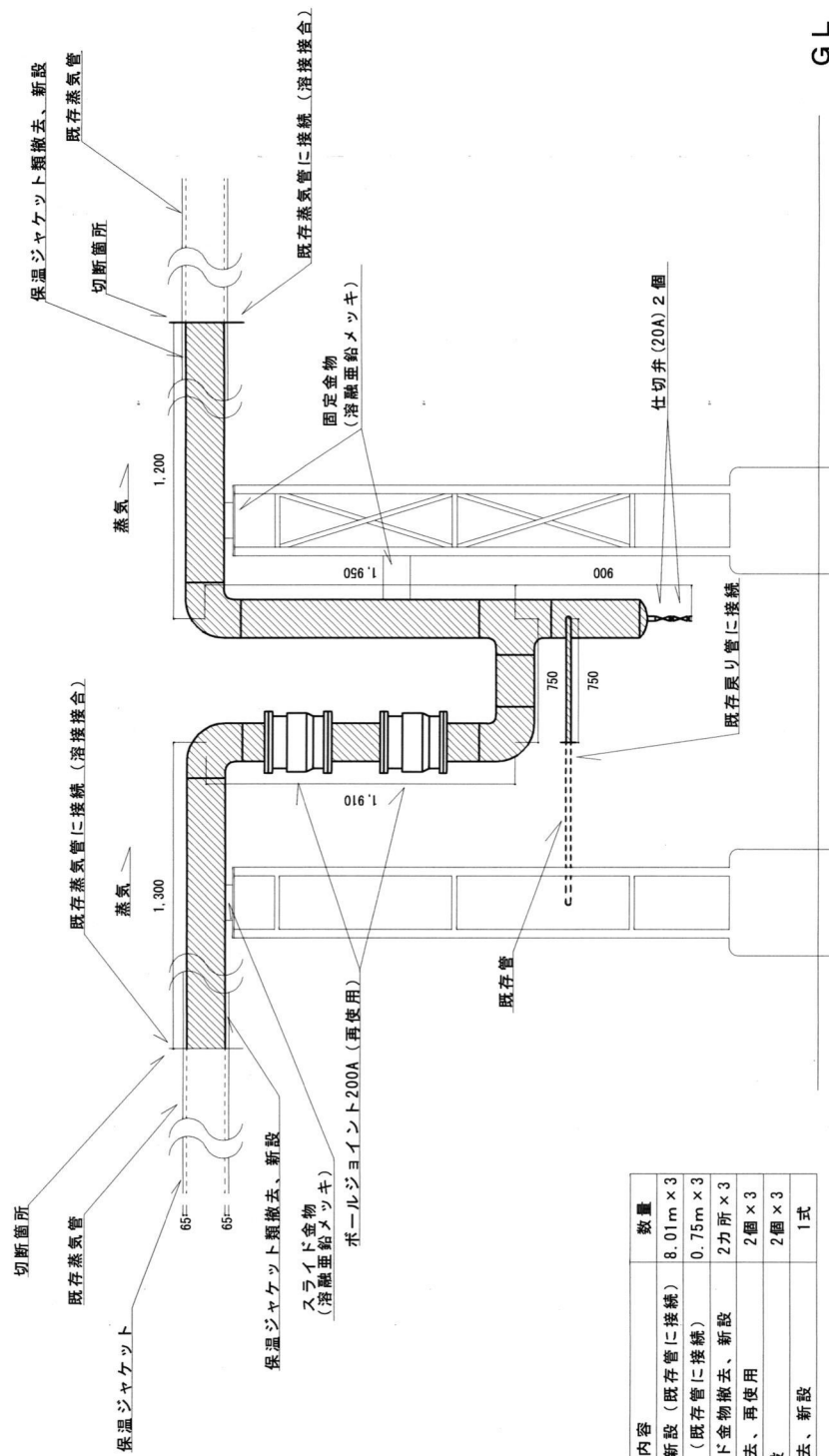
補修内容	数量
蒸気配管200A撤去、新設（既存管に接続）	10.56m
戻り配管撤去、新設（既存管に接続）	0.20m
固定金物及びスライド金物撤去、新設	5カ所
ボールジョイント撤去、再使用	2個
仕切弁20A撤去、新設	2個
保温ジャケット類撤去、新設	1式

配管系統図



工事完了後要返却 工事関係者以外不許複製					
工事名称	屋外蒸気配管補修工事				図面番号
図面名称	側面図				全11葉の内7
施設隊長	総括班長	企画係長	小隊長	班長	設計
松島基地施設隊				令和5年	月 日

施行場所 3, 4, 5 D 面

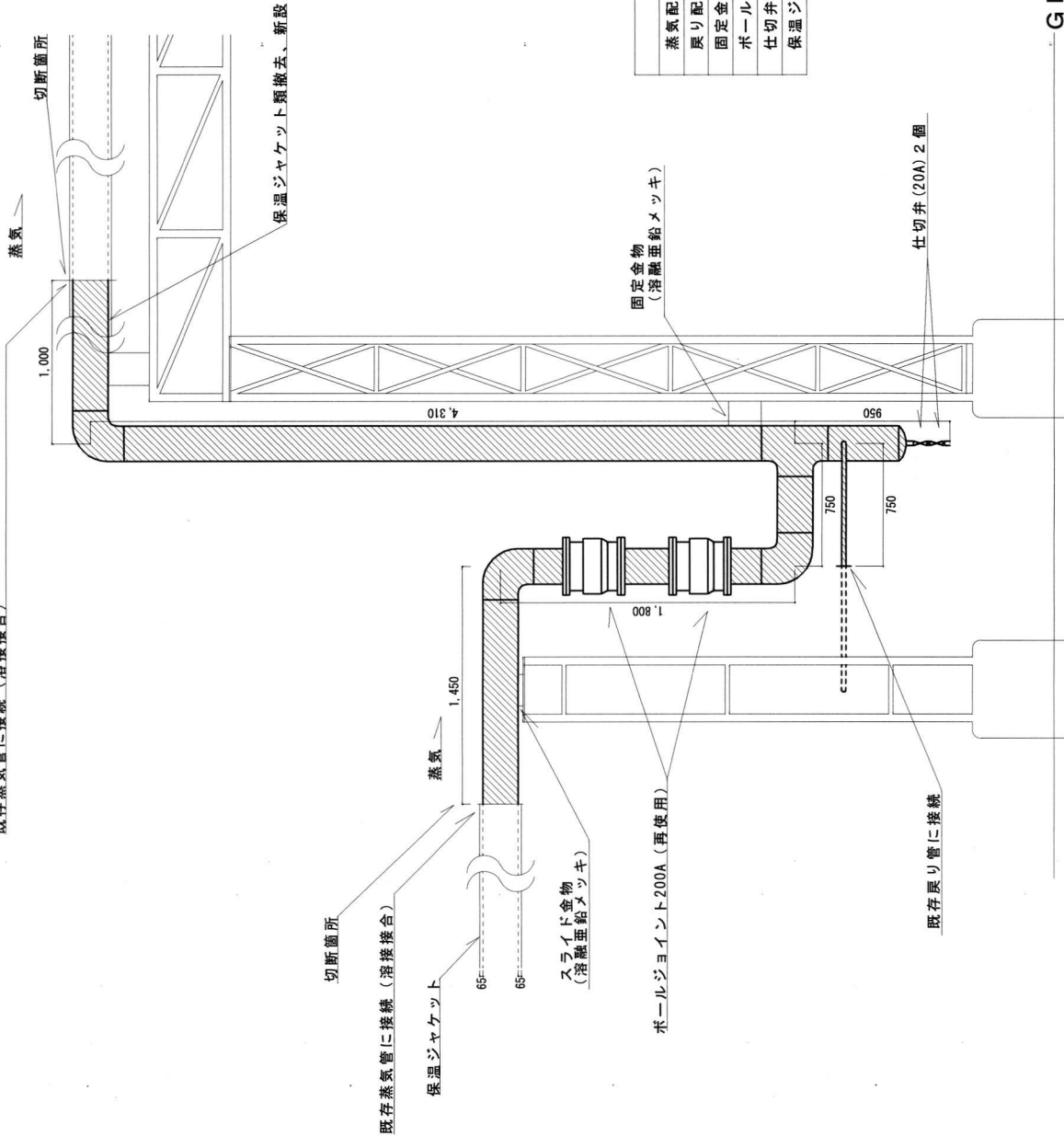


補修内容	数量
蒸気配管200A撤去、新設 (既存管に接続)	8.01m × 3
戻り配管撤去、新設 (既存管に接続)	0.75m × 3
固定金物及びスライド金物撤去、新設	2カ所 × 3
ボールジョイント撤去、再使用	2個 × 3
仕切弁20A撤去、新設	2個 × 3
保温ジャケット類撤去、新設	1式

工事完了後要返却 工事関係者以外不許複製			
工事名称	屋外蒸気配管補修工事	図面番号	全11葉の内8
図面名称	側面図	縮尺	
施設隊長	総括班長	企画係長	小隊長
		班長	設計
松島基地施設隊		令和5年	月 日

施行場所 6 D面

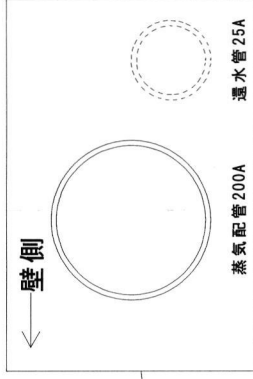
既存蒸気管に接続（溶接接合）



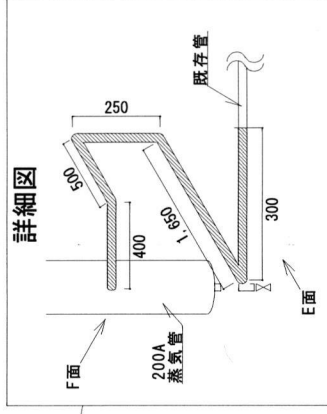
補修内容		数量
蒸気配管200A撤去、新設（既存管に接続）		10.26m
戻り配管撤去、新設（既存管に接続）		0.75m
固定金物及びスライド金物撤去、新設		3カ所
ポールジョイント撤去、再使用		2個
仕切弁20A撤去、新設		2個
保温ジャケット類撤去、新設		1式

工事完了後要返却 工事関係者以外不許複製						
工事 名称	屋外蒸気配管補修工事		全11葉 の内9			
	図面 番号		縮尺			
	側面図					
	施設隊長					
施設隊長	総括班長	企画係長	小隊長	班 長	設 計	
松島基地施設隊					令和5年	月 日

施工場所7 E面



補修内容	数量
蒸気配管200A撤去、新設（既存管に接続）	9.37m
蒸気配管150A撤去、新設（既存管に接続）	7.65m
戻り配管撤去、新設（既存管に接続）	3.10m
固定金物及びスライド金物撤去、新設	4カ所
ボールジョイント200A撤去、再使用	2個
ボールジョイント150A撤去、再使用	2個
仕切弁20A撤去、新設	2個×2
グローブバルブ150A撤去、再使用	1個
保温ジャケット類撤去、新設	1式

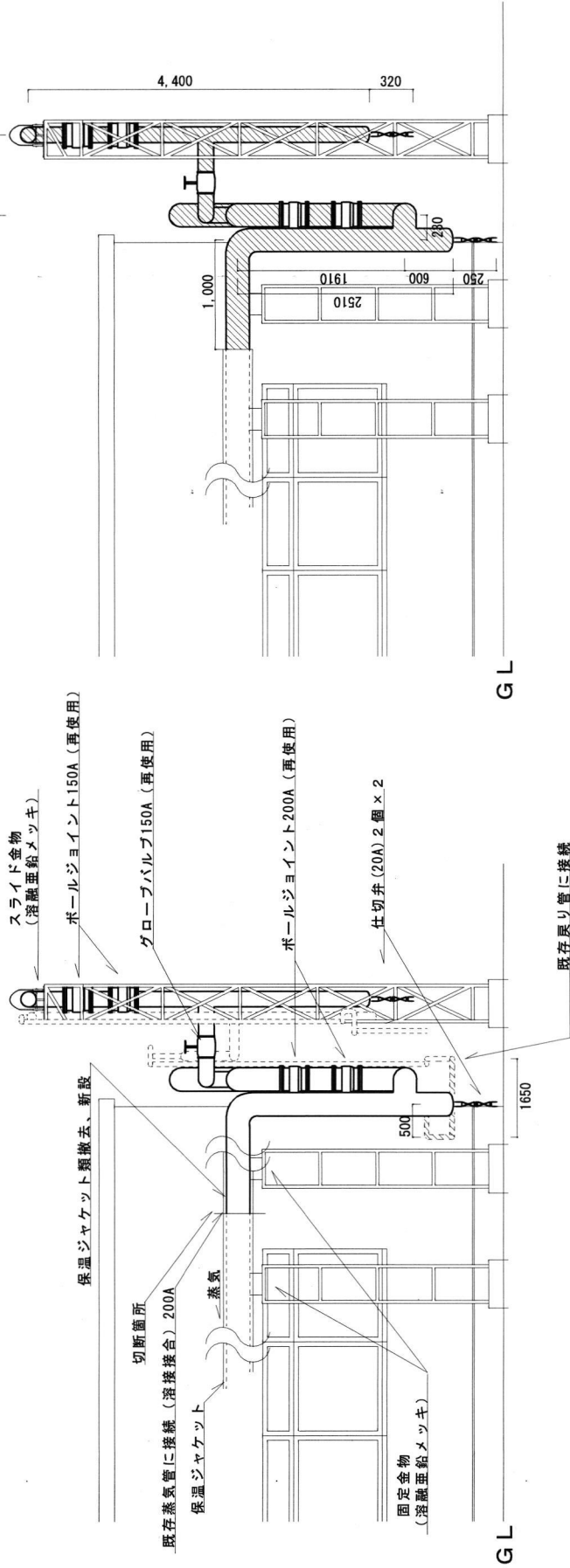


工事完了後要返却 工事関係者以外不許複製			
工事 名称	屋外蒸気配管補修工事	図面 番号	全11葉 の内10
		縮尺	
施設 名称	側面図	班長	設計
		施設隊長	
松島基地施設隊		令和5年	日

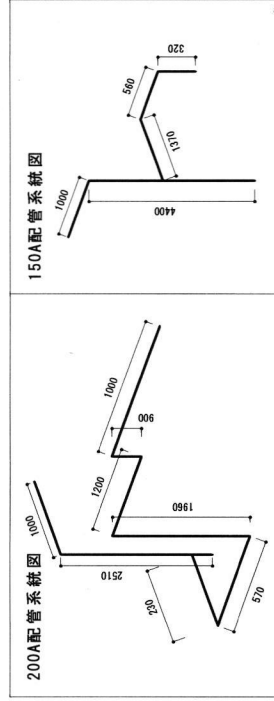
施工場所 7 F 面

戻り配管有り

戻り配管無し



補修内容	数量
蒸気配管200A撤去、新設 (既存管に接続)	9.37m
蒸気配管150A撤去、新設 (既存管に接続)	7.65m
戻り配管撤去、新設 (既存管に接続)	3.10m
固定金物及びスライド金物撤去、新設	4カ所
ボールジョイント200A撤去、再取付け	2個
ボールジョイント150A撤去、再取付け	2個
仕切弁20A撤去、新設	2個 × 2
グローブバルブ150A撤去、再取付け	1個
保温ジャケット類撤去、新設	1式



工事完了後要返却 工事関係者以外不許複製		
工事 名称	屋外蒸気配管補修工事	図面 番号
図面 名称	側面図	全11葉 の内11
施設隊長	総括班長	企画係長
班長	小隊長	設計
松島基地施設隊		
令和5年 月 日		